

報道関係者 各位

2023. 5. 12
<配信枚数2枚>**地域の魅力と課題を探り、提案へつなげる社会人リカレント講座
立命館「チェンジ・メイカー育成プログラム」(第5期) 開講**

立命館東京キャンパス(東京都千代田区、所長:宮下明大)は、社会課題を題材としたビジネスパーソン向け講座「チェンジ・メイカー育成プログラム」を10月6日から全9回で開講いたします。

経産省の委託事業『「未来の教室」実証事業・採択プログラム』として2018年度にスタートした本講座は、2019年度から本学独自事業として引継がれ、コロナ禍で開講出来なかった2020年度を除き、毎年開講され今回で第5期を迎えます。

今年度の本プログラムでは群馬県嬭恋村の協力を得て、東京での事前ワーク・セッションと現地でのフィールドワークを通して「観光」「地域開発」「産業振興」などをテーマに課題解決に取り組みます。日頃の職場を離れて背景が異なるメンバーとチームを組み、具体的な課題設定から解決策までを提案する実践的な2ヵ月となります。異なる価値観の仲間との議論の整理・融合を通して、一人ひとりが「チェンジ・メイカー」になることを目指します。

記

- 期 間 : 2023年10月6日から11月30日 全9回
場 所 : 立命館東京キャンパスおよび群馬県嬭恋村内
対 象 : ・次期ビジネスリーダー候補人材
・新規事業開発に取り組んでいる、あるいは取り組みたいと考えている方
・DXやSDGs事業に取り組んでいる、あるいは取り組みたいと考えている方
・自分自身や日常業務に変革を生み出したい方
・地域との繋がりや新しい価値観を取り入れたい方 など

内容・申込: 別紙ならびにプログラムHP(以下)をご参照ください。

https://www.ritsumeikan.ac.jp/tokyocampus/course_guide/detail/?course_id=31

募集人数 : 25名

申込締切 : 1次締切7月31日/2次締切9月15日

受講料 : 188,000円(税込) ※宿泊費・交通費は各自別途負担となります。

共 催 : ジャパンラーニング株式会社

協 力 : 群馬県嬭恋村

本リリースの配布先: 文部科学記者会、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:池田 TEL. 075-813-8300 <http://www.ritsumeikan.ac.jp/>

別紙

■実施内容

日程	時間(予定)	場所	内容
10月6日(金)	14:00-18:00	東京	①開講式 ②基礎講義 ③EQ 結果解説 ④チームビルディング
10月12日(木)	19:00-21:30	東京*	①課題を深めるミニ講義 ②チーム活動 ③全体のシェア
10月20日(金) ~21日(土)		群馬県 嬭恋村	フィールドワーク
10月26日(木)	19:00-21:30	東京*	①FW の成果共有 ②チーム活動 ③全体シェア
11月2日(木)	19:00-21:30	東京*	①現地事業者との対話 ②チーム活動 ③全体シェア
11月9日(木)	19:00-21:30	東京*	①プレ・プレゼンテーション ②意見交換 ③チーム活動
11月16日(木)	19:00-21:30	東京*	①チーム進捗報告 ②チーム活動 ③全体シェア
11月24日(金) ~25日(土)		群馬県 嬭恋村	【成果報告会(群馬県嬭恋村)】 ①チームによるプレゼンテーション ②講評 ③感想シェア
11月30日(木)	19:00-21:30	東京*	①「EQ ポスト受検」フィードバック ②チームでのリフレクション

※1 場所に「*」のついた回は、オンライン(Zoom)によるセッション。

※2 「EQ テスト」受検を行います。

EQ(Emotional Intelligence Quotient)は感情の知性、こころの知能指数ともいわれています。自分と他者の気持ちが変わり、感情を上手く調整する能力、「この人なら信頼できる、一緒に仕事がしたい」と思わせる人間的な魅力とも言い換えられます。ジャパンラーニング社が提供する Japan EQ と EQ トレーニングを活用し、普段と異なる環境での活動、地域との対話、多様な価値観との触れ合いなどを通して、行動特性にどのような変化が生まれるか、プログラム前後の変化を数値化し、成果を検証します。

■群馬県嬭恋村(フィールドワーク先)のご紹介

群馬県嬭恋村(人口:約9400人)は、群馬県西北部に位置し、上信越国立公園の山麓に広がる高原の村。大自然に恵まれ、キャベツなどの高原野菜の産地として有名。豊富な源泉多様な泉質を有する温泉地であるほか、ゴルフ場や別荘地、キャンプ場などのレジャー施設が充実している。別荘地も点在し、夏は避暑、冬はスキーが楽しめるリゾート地でもある。一方で、滞在客が多い草津温泉や軽井沢ほど知名度が無い為、観光客の誘致には課題も多い。

また、高齢化による人口減少は進んでおり、外部から地域おこし協力隊などの人材招聘や企業との連携、補助事業の誘致などを行いながら農業と観光での地域活性化を進めている。